

各地からの便り



「各地からの便り」の詳細は

森もりスクエア

検索

お仕事見学 「資源の循環利用」



【十勝西部森林管理署 東大雪支署】

令和4年11月22日(火)新得町立屈足南小学校3・4年生の生徒16名が、国有林の造材現場で「お仕事見学」を実施しました。

新得町は林業を昔から大切にしてきた地域であり、林業を学ぶことで郷土への関心を高めることや、森林を循環させるためには森林整備や木材生産の重要性を学ぶ事を目的として実施したものです。

当日は、間伐を実施する理由や人工林と天然林の違い、また高性能林業機械の種類と特徴等の事前学習を行い、その後バスで造材現場へと向かいました。現地到着後、最初に実施したのは見学箇所にある立木の胸高直径の測定をしました。

その後、高性能林業機械のザウルスロボでの伐倒、次いでハーバスターでの伐倒・枝払い・玉切、チェーンソーでの伐倒を見学しました。そして、ハーバスター、ザウルスロボの運転席に座って、オペレーターになった気分を味わい、時間にして約1時間、生徒全員が楽しく現場見学を学習しました。

北海道森林管理局×センチュリーロイヤルホテルコラボ企画開催中



【総務企画部 企画課】

北海道森林管理局は、センチュリーロイヤルホテルとの共同企画として、11月23日(水)から12月25日(日)まで同ホテルで、えりも産クロマツのまつぼっくり等を活用したクリスマスツリーの展示や、道内のまつぼっくりを紹介するロビー展を開催しています。

本企画は、同ホテルが、これまで規格外野菜や低利用魚などを活用するなど食に関するSDGs(持続可能な開発目標)の取り組みを推進する中で、地域と連携した緑化事業などに取り組む当局の活動を知り、ホテルで道産の森林資源を活用した館内装飾やロビー展などを通じて、森林についての情報発信について協力したいとの提案を受け、今回の共同企画が実現しました。

これは「えりも岬緑化事業70周年記念」の一環として行うもので、多くの苦難を乗り越え、地元住民と北海道森林管理局が協働して回復した森からの恵みであるクロマツのまつぼっくりを活用し、センチュリーロイヤルホテルのロビーに設置するクリスマスツリーの装飾や、まつぼっくりのプレゼント(数量限定)を行っています。

幌加内町「産業まつり」になめこすくい・三頭山取組PR出店



【空知森林管理署 北空知支署】

令和4年10月29日(土)幌加内町農業活性化センターアグリにて、第44回幌加内町産業祭が3年ぶりに開催され、北空知支署からも森林・林業のPRも兼ねて「なめこすくい」のブースを出店しました。

内容は「ナメコで溢れんばかりのタライを前に、挑戦者は道具を駆使してナメコを救い出し、その分を持ち帰ることができる。」という名前通りのシンプルなもの。ただし、使用可能な道具はくじ引きで決定されます。

くじで1番の湯切りザルを引き当てるのがナメコマスターへの近道とあって、最初のくじ引きの時点で参加者の集中力はMAX。眼差しは真剣そのものです。強運で1番を引き余裕の笑みで袋いっぱいナメコを持ち帰る姉妹、3番の小さなお玉でも長年の経験と技術を駆使し前者と見紛う大量のナメコをゲットしていく猛者、といった具合に、ひっきりなしで己の全力をもってナメコを救わんとする参加者がやってきます。息をつく暇もないほどの大盛況で幕を閉じました。

～えりもイキイキ森林づくり事業の開催～



【日高南部森林管理署】

令和4年11月2日(水)、えりも国有林内においてえりも岬の緑を守る会主催の「えりもイキイキ森林づくり事業育樹祭」が行われ、えりも町役場をはじめ各関係機関やボランティア団体を含めて約80人が参加しクロマツの枝落としを行いました。

昨年、一昨年は新型コロナウイルスの影響により中止となったため、3年ぶりに開催することができました。また、今年度の「えりもイキイキ森林づくり事業育樹祭」については、来年5月に行われる「えりも岬緑化事業70周年記念行事」のプレイベントとして位置付けられています。

えりも国有林では、えりもの強い風から苗木を守るため通常よりも植栽する本数を多くしています。植栽されたクロマツが大きくなりそれぞれの枝が他の木々や下層植生の生育を妨げないように目線ほどの高さまで枝を落としていきます。皆さん3年のブランクを感じさせないノコギリ捌きで、うっそうとしていた林内がみるみるうちに明るくなりスッキリしていきました。

北海道大学農学部 森林科学科



北大連携協定 パネル展

2022.12.12(土) - 23(日)
10:00 - 15:00

■ 林野庁 北海道森林管理局 札幌市中央区宮の森3条7丁目70 ☎011-622-5245 (技術普及課) ■

北大連携協定パネル展

北海道大学大学院農学研究院・大学院農学院・農学部と林野庁北海道森林管理局は、平成28年から連携協定を結んでおり、北海道大学が有する科学的知見等に基づく指導助言、森林管理局が有するフィールド・各種試験結果を活用した学術研究の推進並びに成果等の実証・活用・普及、双方の人的交流の促進による人材育成等を通じ

て、林業・木材産業の成長産業化を図り、地域の振興・北海道の持続的発展を推進します。
その取組の一環として北海道大学農学部 森林科学科の取組をウェブサイトホールにてパネルとして展示しています。



詳しくは各HPをご覧ください。



えりも岬緑化事業70周年記念



えりも岬の海岸は、昭和20年代後半、“えりも砂漠”と呼ばれるほど荒廃したため、国有林野へ要請があり、昭和28年から治山事業による本格的な緑化事業が始まりました。

この緑化事業は、「えりも式緑化工法」を生み出すなど、関係者の地道な努力によって緑豊かな森林が蘇りつつあり、令和5年度は70周年の年にあたります。このたび、70年間の「えりも岬緑化事業に捧げた情熱」、「成功に至るまでの苦労」などの歴史を風化させることなく、次世代の子供たちに伝え、これからのえりも岬の森林のあり方などを共に考え、絆をより一層深めるため、えりも岬緑化事業70周年記念行事として、様々なイベントを開催します。

特設ページを開設し随時情報を発信していきますのでご覧ください。



もり
広報 「北の森林 国有林」12月号
発行 林野庁北海道森林管理局
編集 総務企画部 企画課
〒064-8537 札幌市中央区宮の森
3条7丁目70
IP電話 050-3160-6300
電話 011-622-5213

<https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/>

今月の木 「ナナカマド」

庭や公園、街路樹として親しまれており、落葉後も赤い実が残ります。

ナナカマドのイラストを
表紙の月数字に載せました。

今月の表紙